

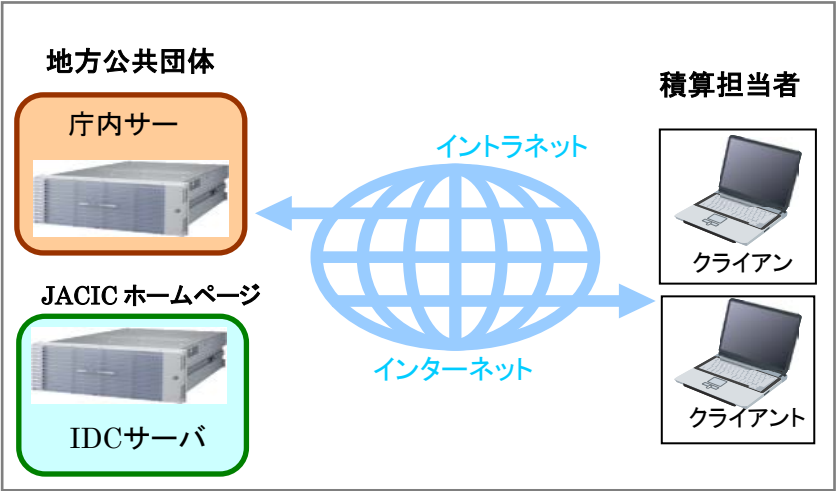
技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質 （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	地方公共団体向土木工事標準積算システム	担当部署	積算システムセンター
NETIS登録番号		担当者	岩崎 邦浩
社名等	（一財）日本建設情報総合センター	電話番号	03-3598-9510
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 （一財）日本建設情報総合センター（JACIC）では、地方公共団体が発注する公共工事の土木工事、調査、設計等に対応した標準積算システム（Web版土木積算システム）を開発し、運用を行っている。このシステムは国土交通省の土木工事標準積算基準による設計書の作成が可能であり、さらに施工パッケージやi-Constructionなど国の施策に対応したシステムの改定は標準パッケージとして対応される。また、積算システムで用いる工事工種体系や施工パッケージの構成比率、歩掛、機労材名称等のデータ（XML形式積算基準データ）はXML形式で書かれているため多くの積算システムベンダーで利用可能となっている。これにより積算システムの改定作業等の負担軽減に寄与するものである。 2. 技術の内容 ①Web版土木積算システム JACICでは、これまでの国土交通省の積算関連業務から得た経験・ノウハウを活用した地方公共団体向けのWeb版積算システム及びXML形式による積算基準データを提供している。これらは施工パッケージ型積算方式に対応済みである。システムの利用方法は庁内LANにサーバを設置する方法とインターネットによるASP方式の利用が可能である。 ②XML形式積算基準データ JACICが提供している積算基準データは、前記Web版の積算システムの開発にあわせて、XML形式で提供している。XML形式は、従来のカンマ区切りのCSV形式とは異なり、タグ内にデータ内容を記述するため、データ自体の視認性が極めて高い。 3. 技術の効果 データ仕様の標準化とその公開を行うことにより、地方公共団体等の発注機関や積算システムを提供しているシステムベンダーにおいて、積算システムへのデータの取り込み機能の開発やシステム保守等を統一的に実施することが可能となり、コスト縮減や高品質に繋がる効果が期待できる。 4. 技術の適用範囲 国土交通省及び、地方公共団体が発注する公共事業の積算 5. 活用実績 （積算システムユーザー） 国の機関 0 件（九州 0件、九州以外 0件） 自治体 14 件（九州 1件、九州以外 13件） 民 間 0 件（九州 0件、九州以外 0件） （積算基準データユーザー） 国の機関 1 件（九州 0件、九州以外 1件） 自治体 25 件（九州 0件、九州以外 25件） 民 間 0 件（九州 0件、九州以外 0件）		

6. 写真・図・表

〔積算システムの利用形態〕



〔積算システムの画面例〕

Web版積算システム (施工P) を起動

工事区分	工事・種別・細目	規格・条件	単位	数量	単価	金額
0001	舗装工		㎡	1		1,902
0002	舗装工		㎡	1		1,902
0003	アスファルト舗装工		㎡	1		1,902
0004	表層(車道・路肩部)	材料種類:再生密度度アスファルト混合物(20),舗装厚:100mm	㎡	1	1,902	1,902
0005	直積工事費		㎡	1		1,902
0006	共通仮設費		㎡	1		0
0007	共通仮設費(率計上)		㎡	1		0
0008	舗工事費		㎡	1		1,902
0009	現場管理費		㎡	1		0
0010	工事原価		㎡	1		1,902

直積工事費: 1,902 工事原価: 2,000 工事費計: 2,100

土木当初 単独工事